

永遠に与え続けるバラ

シッダ・ヨーギによる感謝の体験談

2019年1月1日の「スウィートサプライズ(嬉しい驚き)」で、バラがグルマーイに語り掛けたことをずっと覚えています。「私はバラ、そしてそれで十分です」。それから少しして、私は瞑想の中でもう一つの美しいバラを受け取りました。座っていると、夕日のさまざまな色が私の身体中を彩りました。薄紫色、藤色、薄桃色、オレンジ色、そしてピンク色。深みのある艶やかな赤色が私の心に居場所を決め、そして、花びらがまばゆい日光の金色で縁取られた永遠に咲き続けるバラになりました。バラは、開花と共に私の頭上を超えて広がり、部屋全体を満たすかのように思われました。私はとても守られている、そして平安であると感じました。

グルマーイは、私がこの世に生まれようとしていた時からずっと彼女が私を愛してきたこと、そしていつも私と一緒に、自分の息よりも近くにいることを、私が理解する手助けをしてくれました。

瞑想の中で、プージャの写真から発する輝きとして、あるいは他者の愛情のこもった言葉の中や私の夢の中で、グルマーイの存在を体験するたびに、私は素晴らしい驚きの気持ちでいっぱいになります。

私は、グルマーイの恩恵が私の家族やコミュニティーの中を流れ、大きくなっていくのを見てきました。

グルマーイ、何度も何度も、そして何千回も、あなたの神聖な愛に感謝します。

～オーストラリア、キャンベラに住むシッダ・ヨーギ



© 2021 SYDA Foundation®. 著作權所有。